

北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成27年8月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①～③、図2）

遠望カメラによる観測では、昭和4年火口の噴気は観測されませんでした。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-④～⑥、図4）

火山性地震および火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図6）

GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

・ その他（図5）

21日14時01分に、北海道駒ヶ岳の南東約10km付近でマグニチュード2.4の地震が発生し、鹿部町宮浜で震度1を観測しました。この地震の発生前後で北海道駒ヶ岳の火山活動に特段の変化は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

2) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、北海道及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平26情複、第658号）。

今回の火山活動解説資料（平成27年9月分）は平成27年10月8日に発表する予定です。

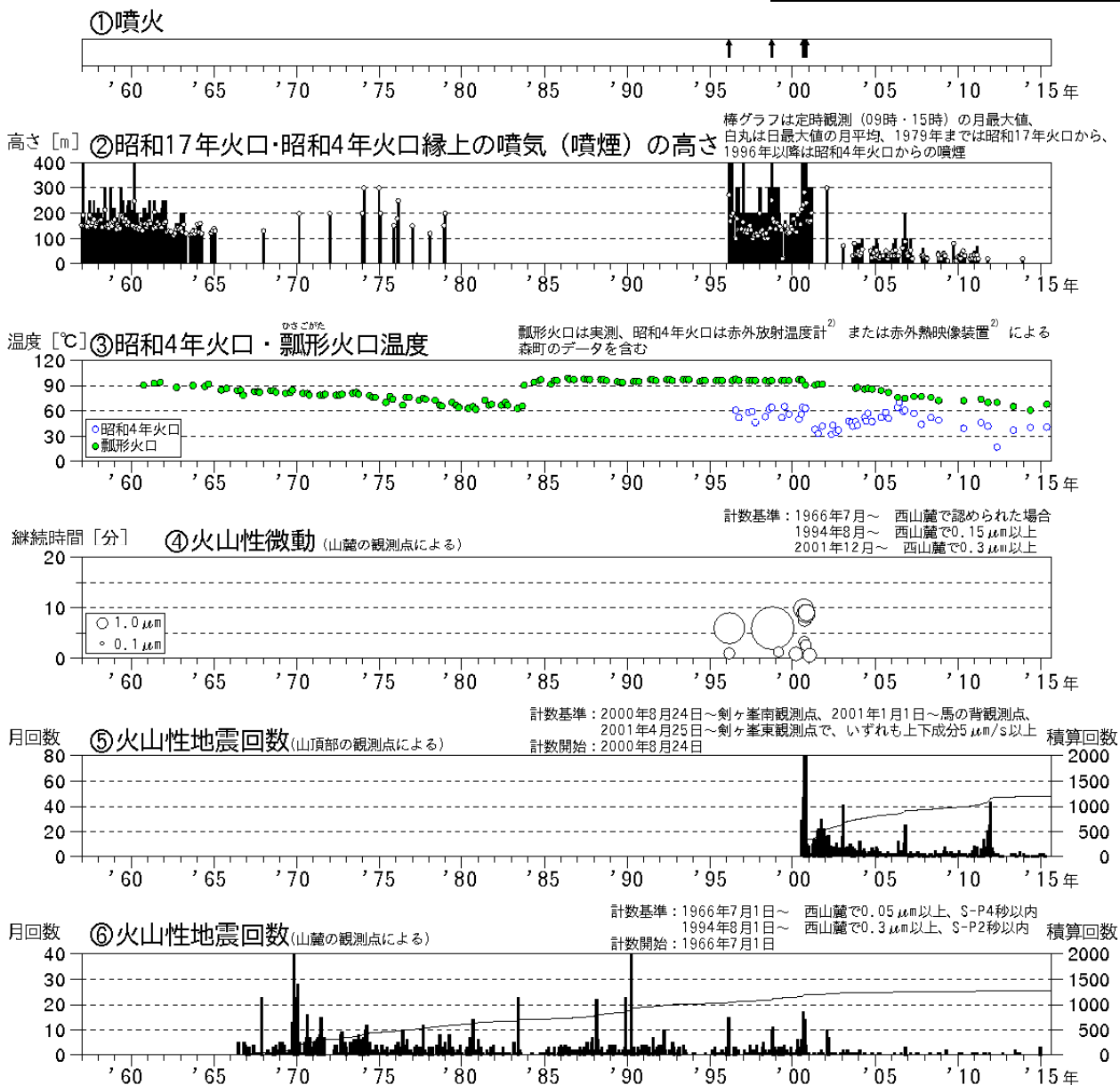


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図 (1957年1月～2015年8月)



図2 北海道駒ヶ岳 東南東側から見た山頂部の状況
(8月25日、鹿部公園南東遠望カメラによる)



図3 北海道駒ヶ岳 火口周辺図

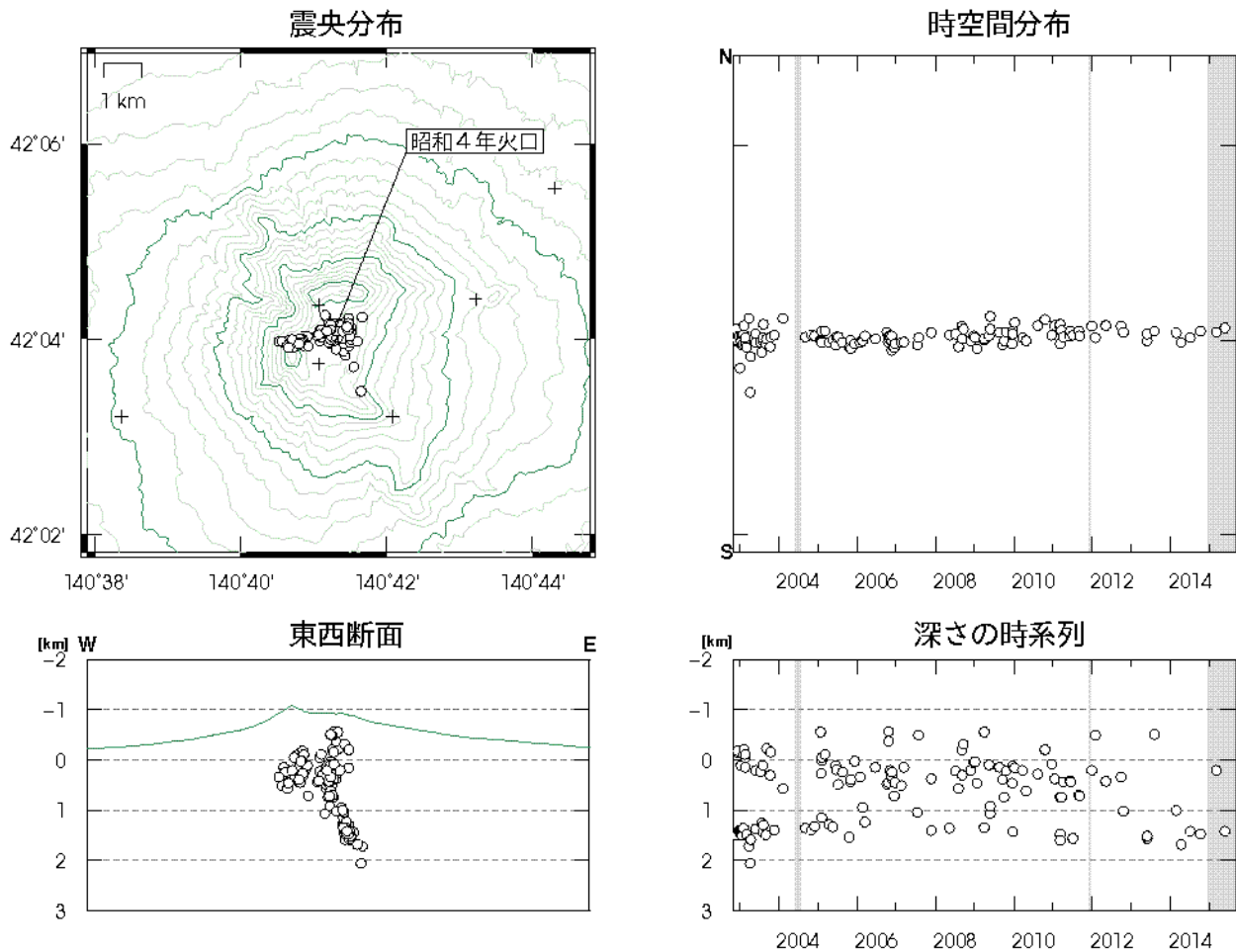


図 4 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布（2002年12月～2015年 8 月）
 灰色の期間は一部観測点欠測のため震源の決定数減少や精度低下が見られます
 +印：地震観測点
 ・今期間、震源が決定された地震はありませんでした

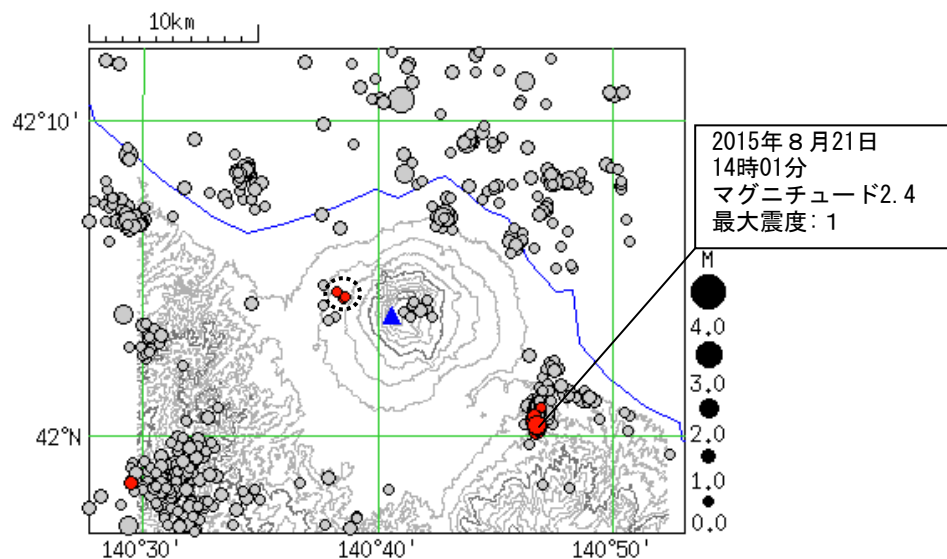


図 5 北海道駒ヶ岳 広域地震観測網による山体周辺の地震活動
 （1997年10月 1 日～2015年 8 月31日、マグニチュード ≥ 0 、深さ30km以浅）
 ・ 8 月に発生した地震を赤丸で表示しています
 ・ 黒点線内は、12日に発生した山体外の深い地震（約10km）を示しています

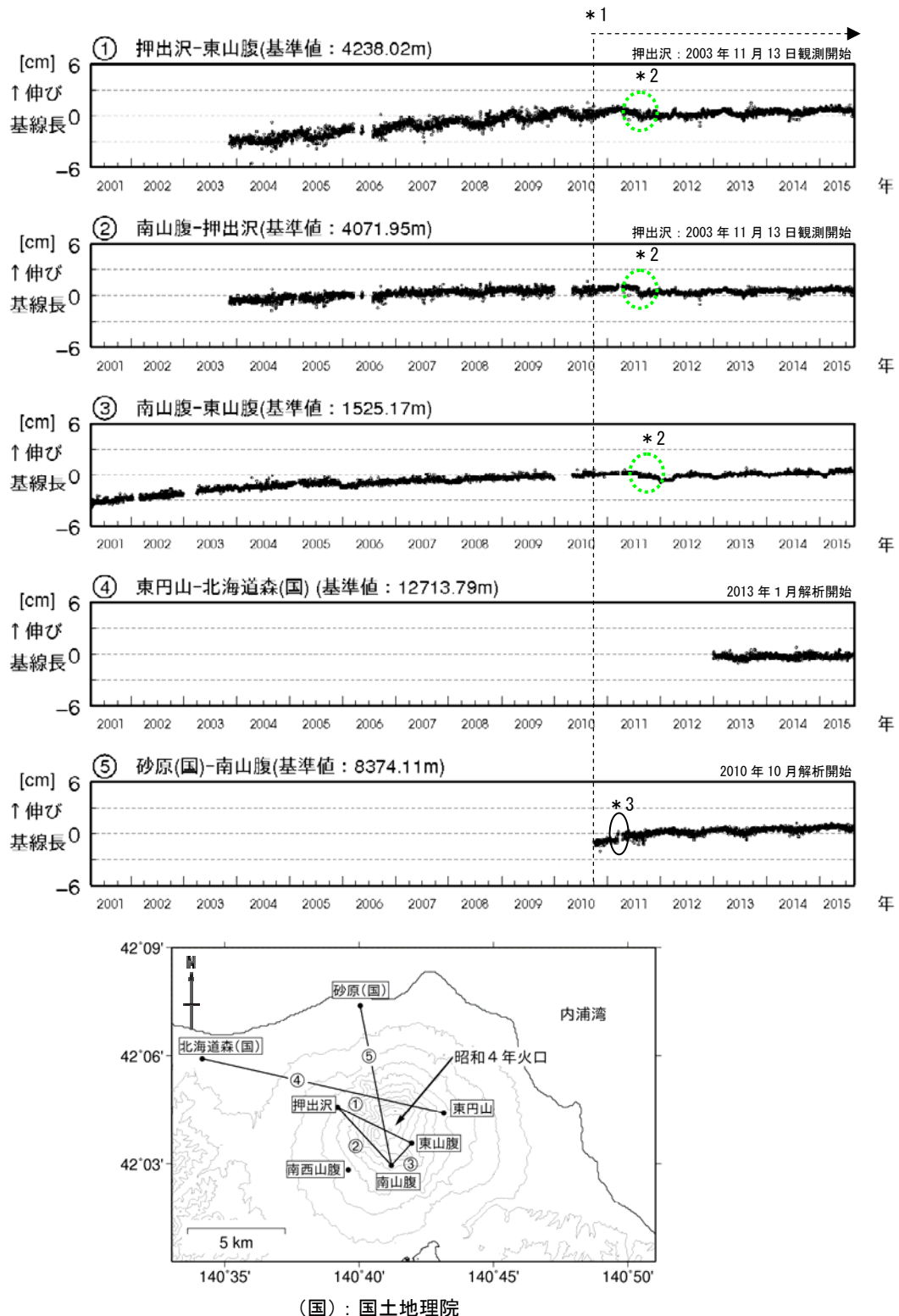


図6 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2015年8月）及び観測点配置図

- ・GNSS基線①～⑤は観測点配置図の①～⑤に対応しています
- ・GNSS基線の空白部分は欠測を示します
- * 1：2010年10月以降のデータについては、解析方法を改良して精度を向上させています
- * 2：緑点線円内の変動は、機器更新によるものです
- * 3：楕円内の変動は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません

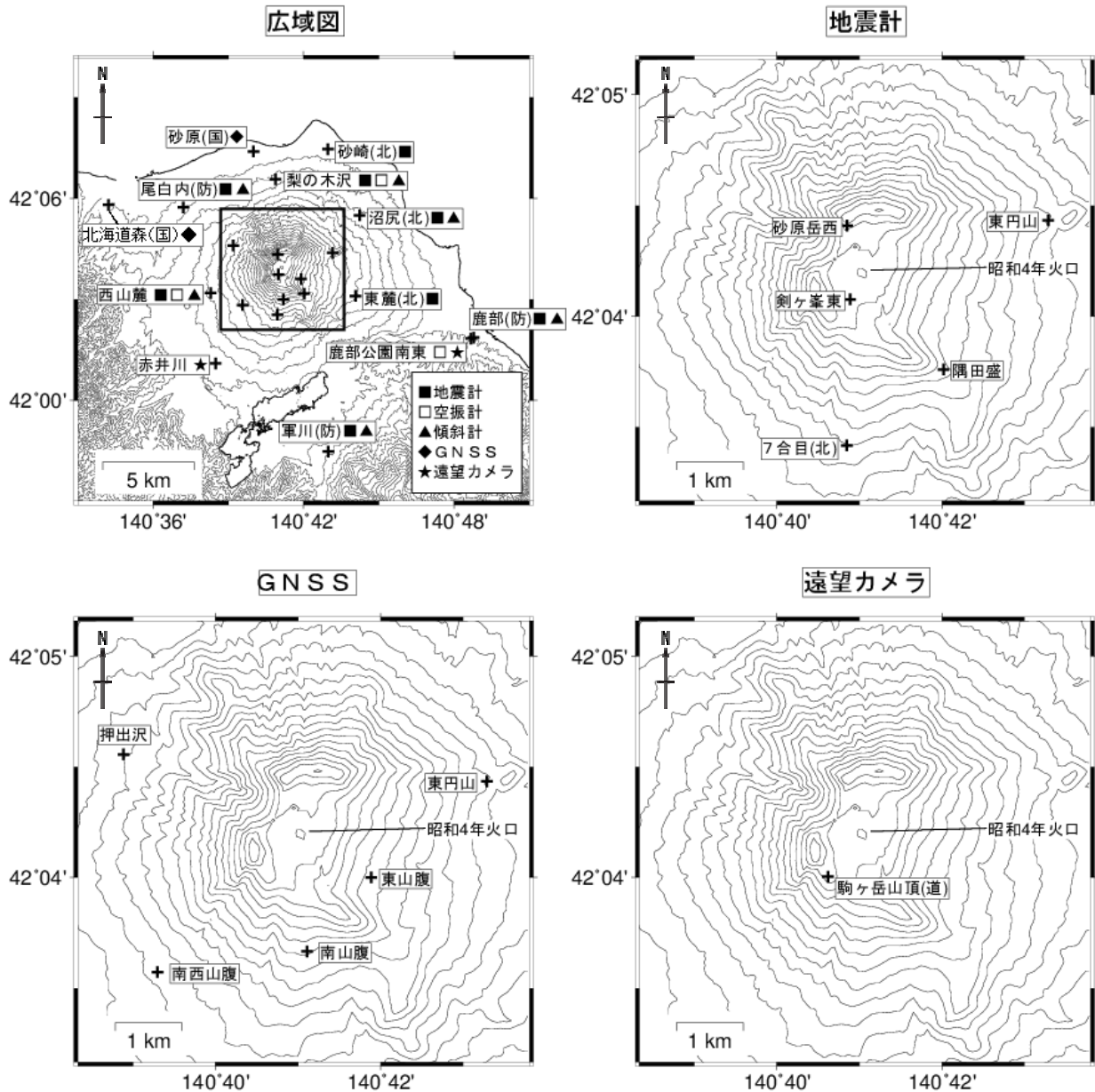


図 7 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

地震計、GNSS・傾斜計、空振計・遠望カメラの配置図の描画領域は、広域図内の口で示した領域を拡大したものです

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国)：国土地理院

(北)：北海道大学

(道)：北海道

(防)：国立研究開発法人防災科学技術研究所